

(参考 5)

女性獣医師支援対策検討委員会からのメッセージ（令和元年6月）

私たち獣医師は、多くの国費を使って育成され、仕事を始める。

そして、仕事をしていく中で、様々な経験をし、いろいろな方々と交流し、多様な価値観に触れることによって、さらに育てられる。

獣医師の活動を通じて、より広い経験や人脈を築いて、人生の幅を広げていただきたい。

今、男性中心だった時代の働き方の見直しが加速化され、多様な価値観の共存が容認されるようになってきた。

女性も男性も、様々な事情を抱えながら仕事をしている。

もし、今は本当に大変でも、やめるのではなく、今できることにしっかり取り組むことで、仕事を続けていただきたい。いずれ事情が許すようになったら、もっと力を発揮していただければよい。

そのことが多様な働き方を認め合う環境づくりにつながっていく。

そしてもし、今はどうしようもなく、退職や休業を余儀なくされたとしても、獣医師としてまた仕事をするのをあきらめずにいていただきたい。いろいろな経験をして力をつけ、次のチャンスが訪れるのを待ってほしい。

せっかく獣医師になったのだから、仕事と生活の両方でのびのびと力を発揮して、どうか、自分らしく活躍を続けていただきたい。

私たちは、日本獣医師会の取組みを通じて、少しずつ、働きやすい環境づくりを進めてきた。

これからも、皆さんのお考えを聞きながら取組みを続けていきたいと思う。